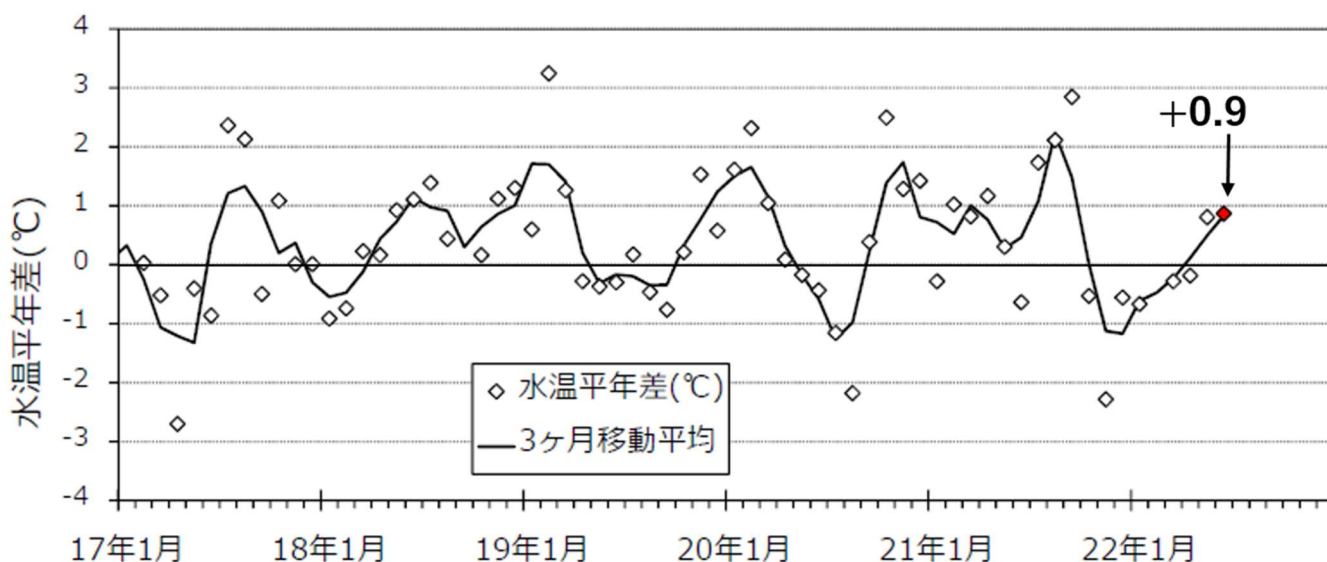


## 【水温の変動】

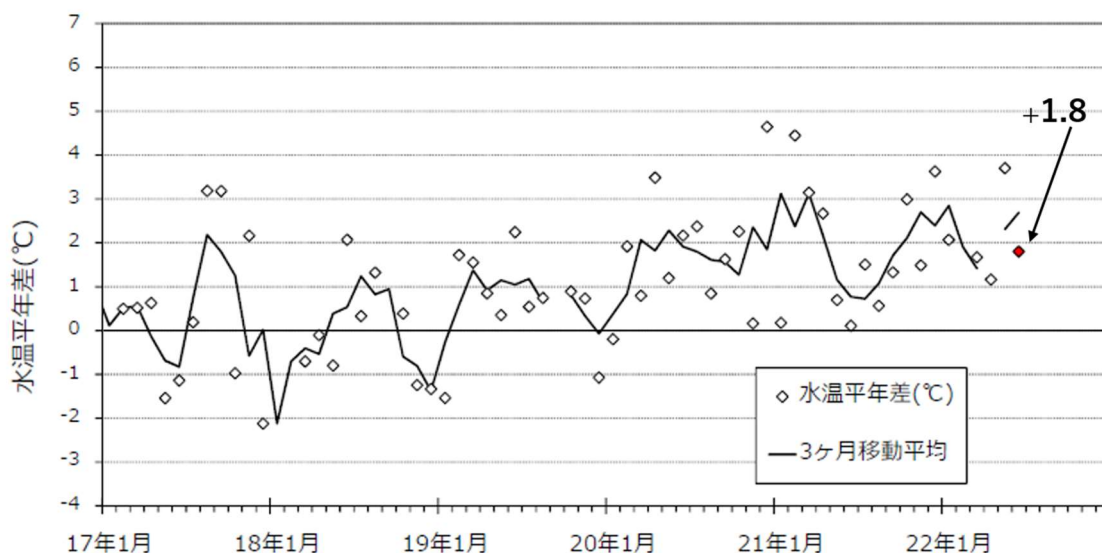
6月9、10日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

湾口部では平年差+0.9°Cでやや高めとなっています。沖合域は平年差+1.8°Cで高めでした。6月9日の人工衛星画像によると、黒潮は、室戸岬沖から南下を始め、潮岬沖の北緯30度付近まで南下後、北緯34度付近まで北上し、御前崎沖に接近した後、房総半島沖へ流れています。現在の流路は、流軸が御前崎沖の北緯33度以北を通過するAs型流路となっています。黒潮が渥美半島に接近しているため、渥美外海では暖水波及が強まっています。

### 湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



### 沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

## 【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 20.8~23.4℃、水深 100m で 17.3~18.0℃、水深 200m で 14.1~14.7℃となっていました。水温の鉛直断面図をみると、等温線が目立った傾きはなく、全体的に顕著な流れは弱い模様です。クロロフィル a 濃度は、伊勢湾湾口部 (P17~A1) の水深 10~20m 付近で最も高く、中間域から沖合域では水深 50m 付近に極大層が見られました。

## 水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

